

令和2年(2020年)第18週 2020年4月27日(月)~2020年5月3日(日)



熊本市 感染症発生動向調査 速報

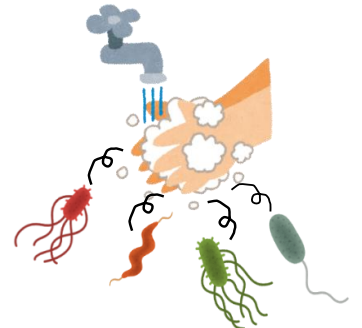
感染性胃腸炎には、「細菌」によるものと「ウイルス」によるものがあります。先週から3週連続で感染性胃腸炎についてお知らせします。第2週は夏季に多い傾向のある細菌性胃腸炎についてです。

●感染性胃腸炎(細菌性胃腸炎)

◆どんな病気?

細菌性のもものでは、腸炎ビブリオ、病原性大腸菌(O-157等)、サルモネラ、カンピロバクターなどが原因となります。

- ・症状……原因となる病原体の種類、感染経路、身体に入った病原菌の量、感染者の健康状態により異なりますが、主に吐き気や下痢、嘔吐、腹痛、発熱などがみられます。
- ・潜伏期間…1~3日程度(病原体によりもっと長い場合もある)
- ・感染経路…病原体が付着した手で口に触れることによる感染(接触感染)、汚染された食品を食べることによる感染(経口感染)があります。
- ・流行期……細菌性胃腸炎に関しては、年間を通して発生がありますが、夏場に増加するものが多いです。



◆かかったらどうすればいいの?

- ・細菌によるものであれば、抗生物質の服用が有効な治療法となります。
- ・下痢や嘔吐が続くときには、脱水に気をつけます。嘔吐がおさまったら、少しずつ水分を補給し、安静に努め、回復期には消化しやすい食事をするよう心がけましょう。

◆予防法は?

- ・帰宅時や食事の前、トイレの後に、流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・二次感染を防ぐため、患者の便や吐物の処理は、直接触れないよう使い捨て手袋やマスクを着用し、汚染された衣類や床などは、次亜塩素酸ナトリウムや熱湯、アルコール(ノロウイルスには無効)等でしっかり消毒しましょう。
- ・調理をするときは、中心部まで火が通るようによく加熱(85℃、1分以上)しましょう。

期 間		2020年 17週		2020年 18週	
		4/20~4/26		4/27~5/3(最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	2	0.13	0	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	8	0.50	10	0.63
感染性胃腸炎	➡	22	1.38	11	0.69
水痘(みずぼうそう)	➡	0	0.00	1	0.06
手足口病	➡	3	0.19	4	0.25
伝染性紅斑(りんご病)	➡	2	0.13	1	0.06
突発性発しん	➡	10	0.63	10	0.63
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	4	0.25	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	7	1.40	1	0.20
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00